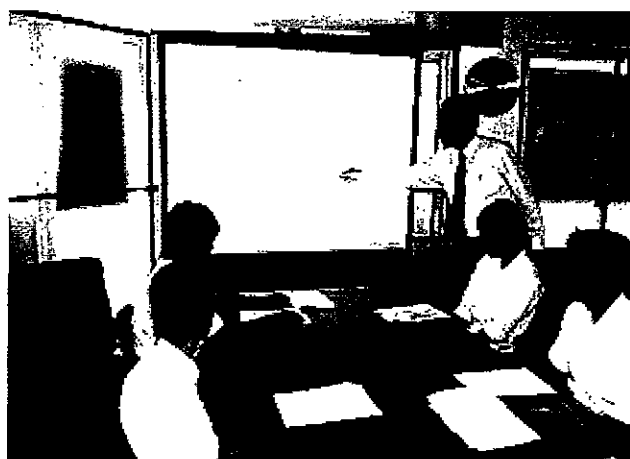


調理・飲食	みんなで一つの物(料理)を作っていました。日本料理は一人で全部作るのではなくみんなで一つの料理をつくっていくことがわかりました。まるでジグソーパズルを組み立てていくみたいに作っていくということがわかりました。その日に明日の仕込みやらなんやら色々やっていました。その日の分だけじゃなく明日の準備をしているなんて大変なんだと思います。やることが分担されているためみんな起きてくる時間がまちまちだと知りました。だから遅く起きられる人は楽なんですかね。最後にはすごいご馳走ができました。それはなんと刺身、天ぷら、みそ汁に漬け物という豪華、4品でした。特に刺身の脂の乗り具合いきたら最高でした。また、こんな機会があったら行きたいです。本当に楽しかったし勉強になりました。ありがとう。米宗
動物・畜産	最初、道のりが分からなくて焦りや不安もたくさんあったけど先生たちの優しい対応などで、とても安心し楽しい時間になりました。私たちのために、わざわざ犬をトリミングしてくださいました。また、本当にためになる話などもしてくださいました。院長さんの話をはじめ、息子さんの話も聞きましたが動物が好きという感情だけでは難しいそうです。そんな中で懸命に動物を助ける院長さんたちは本当にすごいと思いました。
販売	野菜を袋詰めする際に細かい詰め方があるのを知って驚いた。一目見ると無造作に詰められているように見えて実は種類によって正しい詰め方があるとは思いませんでした。自分の袋詰めした野菜が並べて売れていく様子を見て、ちゃんとできていたか心配した反面、嬉しかったりで、現場の雰囲気を感じてきたと思う。
福祉・介護	普段できないようなことを体験、見学でき、高齢者と接する際の注意点や話し方のコツを分かりやすく教えていただきました。そして、福祉施設の裏側の仕事(高齢者にお出しする料理の献立のたてかた等)なども教えていただきました。施設の方に教わり学ぶことは多々あったのですが、高齢者の方からも学ぶことがたくさんありました。一日という短い期間でしたが、短いながらも収穫のある充実した大きな一日にすることができました。普段体験できないような貴重なことばかりでしたので、それを無駄にはせず、就職活動等に役立てることができれば今日の体験をより有意義なものになると思うので、今日の体験を忘れぬよう今後の生活に役立てようと思います。最後に、またこのような機会がございましたら、福祉施設に行きたいと思います。
幼児教育・保育	私は小さい子どもの面倒を見ることは慣れていたので、やる前は自信がありました。なぜなら、家にも2歳と5歳の子どもがいるからです。でも、やってみると自信はだんだんと小さくなり、消えてしまいました。私は他人の子どもの面倒を見ることをしたことがありませんでした。それに、2、3人でなく何十人という数の面倒も見たこともありません。しかも、人の子どもの命を預けられるというのはとても大変です。私は保育士というのはとても大変なことだと知りました。他人の命を預かる。一人一人のことを知っておかなければならないこと。しかも、子どもたちが寝ても仕事はまだ続いていること。保育士には休憩もほとんどないこと。一人一人が怪我しないかちゃんと見ること。いろんなことを知り、勉強になったと思います。
理容・美容	とても良い人たちでやりやすかったです。予約制で一人一人のお客様を大事にしてつくすというのが素晴らしいです。ロッド巻きはすごく難しく焦りました。一つ一つの作業が大事で手を抜くことはすべてをダメにすることで大切に大切にやりました。ホットカラーを巻くこともとても難しかったです。熱くて真っ直ぐにやらないとぐちゃぐちゃになって…。「上手い!」と言われました。すごくうれしかったです。美容についても詳しく教えてもらいました。どうしてパーマをかけると髪が痛むのか聞いたら髪の毛の組織を壊すからだそうです。色々な髪の色や髪型、美容についてたくさん教わりました。私に似合う色も教えていただきました。色々な道具を触らせていただき、とても楽しくやらせていただきました。あんなふうに人につくして笑顔にさせること、してみたいです。難しかったけど、いい体験をしました。夢って素敵だ!

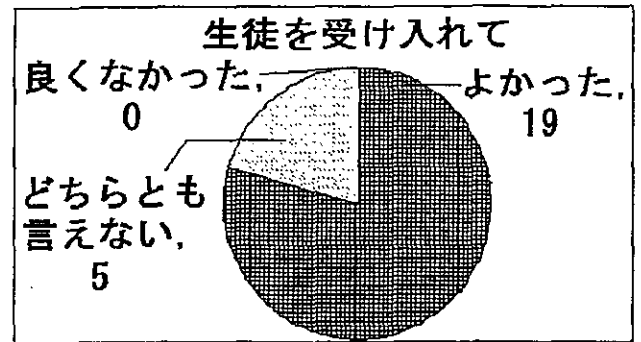
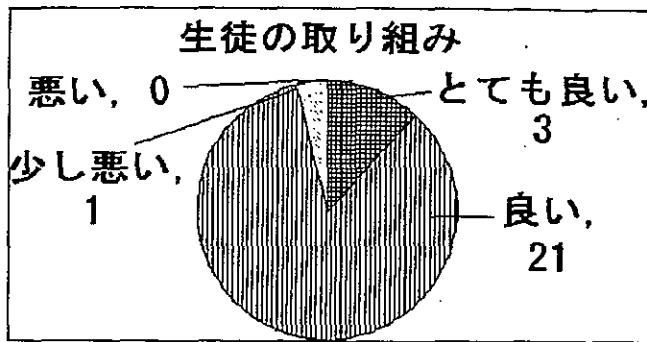


<事務関係にて>



<幼稚園にて>

## 10 事業所の反応



### 1. 生徒の取組み

#### <よかった点>

- ・ みんな素直な子だったように思う。
- ・ お年寄りのことを少しでも理解してもらえた。
- ・ これからの進路意識が高まった様子。
- ・ 体験を自分の活動として丁寧に行っていた。
- ・ 学校生活態度とはたぶん違っていると思います。ビデオで撮ってお見せしたいくらいの別の顔、真剣にしっかりとした態度で臨んでいました。社会性が年齢らしく身に付いていることなのでしょう。



意見交換会の様子

#### <悪かった点>

- ・ 自己主張ができない。おとなしくてあまり会話がなかった。
- ・ 会話時、相手の顔、目を見て話せない。姿勢を正せない。
- ・ 一部の生徒は途中から飽きがきたのか投げ出してしまったこと。
- ・ 高校生の言葉遣いがやや悪く（子どもの前で）子どもが驚いていた場面があった。
- ・ 女子生徒さんの中で化粧をしていた方がいて現場としては不適切であった。
- ・ 体験中に飲食や携帯電話の使用が見られた。

### 2. 生徒を受け入れて

#### <よかった点>

- ・ 社員教育の一環となった。
- ・ 若い方に職業意識というものを気付いてもらう役割（社会的使命）は果たせたと思う。
- ・ 新卒採用の良い判断基準を設けることができた。
- ・ 生徒の若いはつらつとした元気な表情や目の輝きに私も夢と希望に溢れていた頃を思い出し、初心に戻って頑張ろうと彼女達にパワーをもらいました。
- ・ 子どもは地域、社会がかかわり協力して一人前の社会人に育てていくのが望ましいと思う。
- ・ 現在の高校生の仕事に対する考えを知れた点。

#### <悪かった点>

- ・ 突発的な仕事に対応しづらいマイナス面もあった。
- ・ どうしたら興味をもって一日過ごしてもらえるかが良くわからない。
- ・ 能力（知識）に見合った業務（指導）を用意できなかった。
- ・ 遅刻し迷ってしまい、その連絡の仕方に反省があります。

## (2) 総合Bにおける「校外体験学習」の導入

2年次の総合Bは、6月～12月の半期集中1単位の必修科目である。例年、生徒は10程度の講座から2講座を前半・後半で、選択してきた。ここに、本年度から、前後半を通した講座としてインターンシップを組み込んだ。概要および総括は以下の通りである。

### 1 目的

将来の職業選択を意識し、専門学校での実習または近隣事業所でのインターンシップを選択して、夏休み中に体験学習を行うことで、進路についての意識を深め、社会人のマナーについて学ぶ。

### 2 事前指導、事後指導の流れ

日程	内容
6月7日	体験学習先希望調査 志望動機のまとめ
6月21日	マナー研修 受講費用の集金
7月5日	事前確認
夏休み中	実習(3～5日) 20時間以上をめやすとした。
9月6日	ふりかえり(感想)とお礼状作成、事後アンケート

3 実習 予定通り28名の生徒が以下の事業所での実習に取り組んだ。体調不良により、1日欠席2名、1日半欠席が1名出たが、全員規定の出席を満たした。

実習先	日数	生徒数	備考
アーツカレッジヨコハマ	4	6	事前に協定書を締結 (町田の3校はすべて榎本学園なので、 同学園と協定書を結んだ。)
町田美容専門学校	4	3	
町田調理師専門学校 町田製菓専門学校	2+2	7	
森永製菓 鶴見工場	5	3	横浜北地区インターンシップ協議会経由
ナザレ幼稚園	3	3	昨年度キャリアアドバイザーによる 独自開拓
長津田幼稚園	3	2	
長津田幼児アカデミー	3	3	
柿の木台保育園	3	2	

### 4 実習期間の教員体制

- ・ 「校外体験学習」担当で、連携先との事前の確認・あいさつを行った。
- ・ 専門学校については、引率を希望する榎本学園に合わせ、基本的に総合Bの教員が引率した。
- ・ 幼稚園・保育園については、実習期間中、総合Bの教員が随時巡回した。
- ・ 森永製菓鶴見工場は、横浜北地区インターンシップ地域連絡協議会を通しての実習となるため、担当者は鶴見高等学校の先生に対応していただいた(同協議会を通じた他校のインターンシップについては研究開発Gの担当が対応)。

### 5 連携先の評価

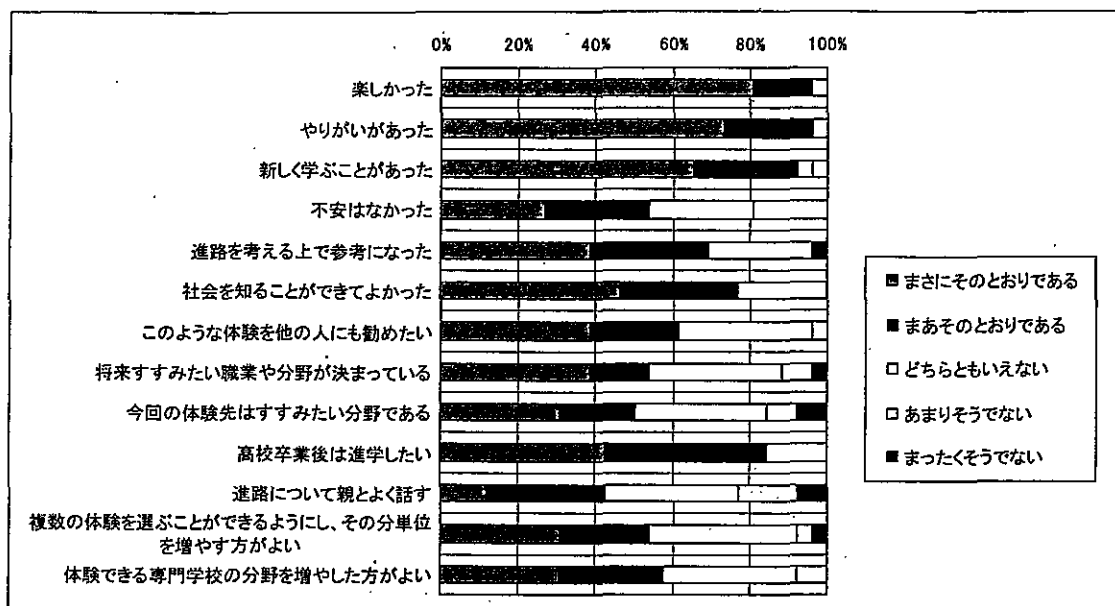
- ・ 生徒の取り組みについては、回答のあったすべての連携先から「よい」とのお答え

をいただいた。

- ・ 専門学校については、5人以上実施が求められている。
- ・ マナーについては、力を入れたつもりだが、服装その他でもう少し事前指導を強化する必要があると感じた（とくに保育園）。

巡回引率した教員から見ても、生徒は実習についてはとてもよく取り組んでいた。

## 6 生徒の反応



- ・ 「楽しかった」「やりがいがあった」「新しく学ぶことがあった」の項目で95%以上の生徒が肯定的評価を出している。
- ・ 「進路を考える上で参考になった」への肯定的回答も70%近くに達している。
- ・ 「このような体験を他の人にも勧めたい」への肯定的回答も、60%を越えている。
- ・ 選択講座であり、希望した生徒による実習ではあったが、夏休み中に集中して授業を行うため通常授業で放課になるのを目的に安易に選択した生徒もいたことを考えると、上記の結果はたいへんよかったといえるのではないかと。

生徒の具体的な声については、後の資料にまとめた。

## 7 総括と来年度に向けての方向性

- ・ 本年度は、講座の目的を十分に達成することができた。
- ・ マナーについては、服装も含め、もう少し指導を強化する必要がある。
- ・ 生徒の反応もよく高い教育効果を期待することができるため、来年度は、「校外体験学習」に参加する生徒をさらに増やす方向で、より積極的に呼びかける。
- ・ 専門学校実習とインターンシップを別講座にすることも考えられる。
- ・ 連携先の専門学校を増やすかどうかについては、今後、見極めたい。生徒にとっては多様な選択が可能の方がよいが、各校5名以上は人数が集まらないと、連携先の負担感が増してしまうという問題点がある。
- ・ インターンシップについては、幼稚園・保育園以外の希望が出にくい状況にある。この理由としては、横浜北地区インターンシップ協議会経由のものは、本校職員が詳細を把握できていないために生徒にとって魅力ある呼びかけが難しいこと、専門学校での実習の方が敷居が低く取り組みやすいこと、専門学校についてある程度まとまった人数を揃えたいという連携上の配慮が働くこと、などがある。

## 資料 「校外体験学習」生徒の感想やお礼状から

### お礼状から

#### アーツカレッジヨコハマ御中

まだまだ暑い日が続いておりますが、先生方はお元気でいらっしゃいますでしょうか。

8月27日～30日に体験実習でお世話になりました県立田奈高等学校2年の〇〇〇〇です。

体験実習では、コンピュータ自作、知って得するPC操作、オフィスアプリケーション、ゲームプログラミングを体験させていただいて、大変勉強になりました。貴重な時間を割いて親身にご指導くださり、本当にありがとうございました。

1日目、2日目にご指導いただいた山崎先生、PCの組み立て、ランの製作、fire foxのインストールなど大変面白く、タメになることばかりでした。とくにGmailはうれしかったです。

3日目にご指導いただいた北岡先生、オフィスアプリケーションはとても難しいことばかりで、自分はせっかくできたものを消してしまったこともありましたが、とても分かりやすく楽しかったです。

4日目にご指導いただいた大久保先生、ゲームプログラミングは3日目にやったIF関数ができたので、少し頭の中がパニックになってしまいましたが、スロットゲームをつくり、できているゲームを改造したりして、とても面白かったです。

今回の体験を通して、自分はゲームの仕事をしたくなりました。

残り1年半は、そのための準備をしつつ、他の仕事にも視野をむけていきたいと思えます。

今後も機会がありましたら、ご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

みなさまのご健康をお祈りしております。

#### 町田調理製菓専門学校御中

この前は調理、見学をさせていただき、ありがとうございます。包丁の使い方や、麵の入れ方、皿の持ち方は小さいことだと思えますが、これらを積み重ね練習することが大事だと言うこと、また将来の事をもう少し真剣に考えなければならぬことを学びました。お菓子の分量やナプキンの折り方など、そういう細かいことも大切ですが、努力ややる気なども大切だと思えます。

短い間でしたが、とても勉強になり、有意義な4日間を過ごせたと思えます。

ありがとうございました。

#### 長津田幼稚園御中

まだまだ暑い日が続いておりますが、先生方、子どもたちはおげんきでいらっしゃいますでしょうか。8月28日～30日に体験学習でお世話になりました県立田奈高校2年の□□□です。

体験学習では子どもたちともふれあい、その他にも先生の仕事などを体験させていただいて、大変勉強になりました。貴重な時間を割いて、親身にご指導くださり、本当にありがとうございました。

この体験ができて、最初はきんちょうで声も小さかったり、なかなか自分からいろいろできませんでしたが、子どもたちからいっぱい話しかけてもらって、少しずつきんちょうもほぐれて楽しくて充実した3日間になりました。

先生からも資格などのいろんな話も聞けたので、すごく参考にもなったので、今回の体験を通して、自分はぜひ、この分野で将来仕事をしていきたいと思えます。

残り1年半はそのために準備をしていきたいと思えます。

今後も機会がありましたら、ご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。みなさまのご健康をお祈りしております。

## 感想から

- “好き”という理由だけではやっていけないことがわかった。けど、ぎゃくに好きでないとやっていけないことだと思うこともありました。  
(長津田幼児アカデミー)
- 初日から迷ってしまい危うく遅刻をしてしまいそうだった。初日はパソコンを自作してインストール作業をした。自作は思ったより簡単だった。インストールしたプログラムは結構使えたので、自分のパソコンにインストールして使っている。2日目はタイピングのブラインドタッチの練習をした。ブラインドタッチがむずかしかった。みんなでトーナメントをやったけど先生に負けてしまった。ちょっと悔しかった。はじめて聞いたけど、有名だといわれているタイピングソフトがあってすごいことになるソフトだった。(中略)この体験で将来のためにエクセルという貴重なことを勉強した。活用してみようと思った。この体験をやってよかったと思う。  
(アーツカレッジヨコハマ)
- 僕は2つ行ったけど、まず森永工場はとにかく疲れたけど、やりがいはあったし、なんといっても工場の人がやさしいひとばかりだった。最初はちょっと緊張してたけど、けっこうきらくになった。でもずっと立ちっぱなしの作業だったのでけっこうつかれはのこった。けどけっこう楽しかったからいいかなと思っている。どうやってお菓子が作られているのか、どうやってはこばれるのかとかがわかった。でもずっとチョコを見ていたので、しばらくチョコがいやになりました。  
(森永製菓)
- 町田美容専門学校に体験に行っ、自分の将来やりたいことが決まりました。カットの技術やアップ、着付けやメイクやネイルなど色々なことを学べたし、美容業界の大変さ、楽しさがよくわかりました。ビデオで見たヘアーショーがすごくて、自分もやってみたいと思いました。また、在校生の方たちが優しくてわかりやすかったし、楽しくできました。先生方もすごく優しくかったです。技術の方はワインディングが楽しかったです。パーマが綺麗にかかって嬉しかったです。カットはグラデーションが難しくあまり出来ませんでした。最終日にやったネイルのマーブルが上手くできて良かったです。あとドールメイクはほほに書いた市松のハートが結構綺麗に出来て、部屋にかざりました(笑)また行きたいと思いました。  
(町田美容専門学校)
- 町田調理師専門学校では、初めて知ることや色々な道具を見せてもらったりして、休みの時間に体育館も貸してもらい、すべてが新鮮ですべてが楽しかった。マナーも教えてもらい、ナプキンの王冠も「こうできているのか」と覚えたこともあった。町田製菓学校では砂糖にもいっぱい種類があることやショートケーキの作り方を教えてもらった。ショートケーキの生クリームを混ぜる時、ものすごく力があることを知った。パティシエものすごい力と新鮮な技、そして芸術センスが必要だと思った。ナッペという作業は楽しかったし、ローズ絞り、シェル絞りは真剣に取り組めた。  
(町田調理師・町田製菓専門学校)
- 中学生の時、一度体験してた幼稚園の先生。今回、校外体験学習でまた体験しに行っ来て、さらにいろいろ学ばせていただきました。中学生の時は、子供達と遊んだり、そうじをしたくらいで、今思えばまだ全然楽な仕事でした。今回はもう結構きつかったです。子供達と遊ぶのはもちろん、集会の準備や子供の使った後のドロだらけのおもちゃ洗い、そうじは先生みんなで力を合わせてやって、団結力がすごいと思いました。一番思ったというか感じたことは、先生はいつもニコニコで優しく接してくれてたけど、実は裏ではいつも子供達のために一生懸命働いてくれたんだってこと。それを思いながらがんばるとちょっと泣きそうになりました。でも、大変だったけど、子供の目線にも先生の目線にもなって、体験できてすごく良かったと思います。  
(長津田幼稚園)
- 今回の体験はとてつもなく勉強になり、とてもいい体験になったと思う。今まではあまり料理をしなかったから、料理をするということがとても大変で、かなり奥が深く、道具の使い方などのちょっとしたことで味が変わるといことを知ることができたと思う。先生方の話もとてもいい話で、これから進路を決めるのにとてつもなくさんこうになる話だったし、進路だけではなく、これから生きていくことのさんこうにしたいと思う。今回の体験をして、将来はこのように、何かをつくったり、なにかを人に教えるよう仕事をしてみたいと思った。  
(町田調理師・町田製菓専門学校)

### (3) 総合Bにおける「地域で福祉を体験する」の実践

～「フローレンスケア美しが丘」での介護体験を中心に～

#### 1 目的

高齢社会の現状と介護の実際を知り、その課題について考える。さらに、地域の高齢者介護福祉施設での体験を通して、高齢者との交流を図り、介護に関わる職業の現状を学ぶ。

#### 2 受講生

前半：2年生10名（女子8名 男子2名）

後半：2年生10名（女子8名 男子2名）

#### 3 講座の流れ

##### 1) 前半

	日程	内容
1	4月19日	人の一生と健康問題にそって、歳をとることについて考える。 介護保険法など高齢者に関する情報をインターネットを用いて調べる。
2	6月7日	高齢者の身体的な実状を体験キット（もみじ箱）を使って体験する。
3	6月14日	介護体験に向けてのオリエンテーション （施設の概要と社会人としてのマナーなどを確認する。）
4	6月23日	（校外体験）介護体験（5名）
5	6月30日	（校外体験）介護体験（5名）
6	7月5日	ふりかえりとお礼状作成
7	9月6日	車椅子体験と座ってできるレクリエーションを考えて実践する。 講座のまとめ

##### 2) 後半

	日程	内容
1	10月11日	人の一生と健康問題にそって、歳をとることについて考える。 高齢者の身体的な実状を体験キット（もみじ箱）を使って体験する。
2	10月18日	介護体験に向けてのオリエンテーション （施設の概要と社会人としてのマナーなどを確認する。） 車椅子体験と座ってできるレクリエーションを考えて実践する。
3	10月27日	（校外体験）介護体験（5名）
4	11月10日	（校外体験）介護体験（5名）
5	11月22日	ふりかえりとお礼状作成
6	12月6日	施設のイベントに向けて、飾りや折り紙を用いた小物を作成する。 講座のまとめ

備考：前後半は、施設での介護体験までの授業数が異なるため、内容にも変化をもたせた。

#### 4 介護体験

##### 1) 体験先：フローレンスケア美しが丘

横浜市青葉区美しが丘4-43-4

## 2) 実習の流れ

8:50	集合・待機
9:00	施設長による施設の説明・案内 担当スタッフとの顔合わせ
9:30~	ラジオ体操・水分補給の補助・見守り
10:00~	入居者の方々との歓談
11:30~	昼食準備(配膳・お茶配り)・嚥下体操
13:00	実習のまとめ 終了

## 3) 生徒の感想

- ・ リラックスタイムの時は、お年寄りのことを気にしつつ、自分達の仕事をするのは大変だと思いました。スタッフの方がとても楽しい方でした。
- ・ おばあちゃんが、水彩画を描いてくれようとしてくれたけど、うまくできなかつたらしく、もらえなかった。でも気持ちだけでもすごく嬉しかった。お茶を配った時に、「ありがとう」と言われるとなにげに嬉しい。
- ・ 普段やり慣れていないことをやったせいもありますが、半日なのにとっても疲れました。ほぼ、毎日やっている介護師の方は、もっと大変なんだと思いました。今回フローレンスケアに行つてとても良い経験ができました。お年寄りには人生の先輩です!!
- ・ 私が担当した階は、この施設では割と元気な方達がいる階で、おしゃべりもどんどん進んでいって、楽しく過ごすことができました。機会があったらまた行ってみたいです。

## 4) 施設の方のお言葉

- ・ 人の話を聞く態度も含め、素直でとってもかわいい女の子です。細かいところも自分なりに感じたように思えます。今日はありがとうございました。機会があったら次に会いたくなるようないい性格です。これからも頑張ってくださいね。
- ・ 入居者様にきちんとあいさつをして頂き、皆様笑顔でお話しをしていました。お疲れ様でした。
- ・ 性格が明るく、とっても好青年です。スタッフの説明も素直な態度で聞いてくれ楽しい時間を過ごしました。これからもこの気持ちを忘れずに!
- ・ 初めての経験なのでしょうか、最初大変緊張されていましたが次第に入居者様達のテーブルの中に入って話しして下さり、清掃などお手伝いして下さいました。お疲れ様でした。
- ・ 静かな口調と優しい語りかけで入居者の方々と話しして下さいました。皆さんとても喜ばれていました。相手のお顔を見て話されることがとても大切だと私共も再度教えられた様な気がします。いつまでもそれを忘れないでいて下さい。

## 5 総括と来年度に向けての方向性

- ・ 施設スタッフの方は、生徒の介護体験を快く引き受け、積極的に受け入れ体制を整えて下さっている。時節柄や施設のイベントなどもふまえて、事前に施設の方と連携を取り、高齢者の方々に喜んで頂ける贈り物やイベントの企画なども考えていきたい。
- ・ 生徒の感想から、施設の設備などの印象よりも、入居者を支えるスタッフの方々の働きぶりやお人柄に強く感銘を受けていることがわかった。事前学習において「介護師」という職業について、より知識をもち興味・関心を高めて体験に臨めるような学習内容や形態を考えていきたい。
- ・ 施設の方のお言葉から、気持ちの良いあいさつができることや相手に喜んで頂けるような傾聴の姿勢が、介護体験をさせて頂くにあたりとても大切であることがうかがえた。事前のマナー学習において、特に挨拶と傾聴する姿勢に焦点をあてた学習が効果的なのではないだろうか。



## 2 中央大学とのキャリア教育連携授業について

### 1 流れ

2007年3月 古賀正義教授（中央大学教育社会学研究室）による研修を兼ねたプレゼンテーション

進路多様校の場合にはキャリア教育のモデルを変えていく必要があり、「目的達成型モデルからリスク回避的モデルへ」の移行が求められている。

職業意識の醸成を図って目標を設定し、それを実現するために面接や資格などのスキルを習得するという従来型モデルでは、多様な雇用のあり方や転職が多い現在の職業世界に対応しきれないことから、転職やフリーター経験も含めたケース＝先輩の生き方・あり方を理解し考えることを通して、変化のためのスキルも含め、実際の職業世界への適応するためのスキル形成を促す研究授業を試みたい。

2007年4月 連携について職員会議で了承

2007年6月7日（木） 第1回研究授業 3校時 1-2 4校時 1-7

2007年11月8日（木） 第2回研究授業 3校時 1-2 4校時 1-7

2008年3月15日（土） 「生徒の変化とキャリア教育の今後を考えるフォーラム」（中央大学）にて研究報告

### 2 研究授業の内容

古賀研究室作成のプログラムは、今まで数年間にわたって同研究室が継続して収集してきたインタビューデータを元にしたケーススタディを核として構成されていた。等身大の若者の存在とそのキャリア、それについて語る若者自身のことばをできるだけリアルに提示することを通して、ともすれば不安定になりがちなキャリアをいかに生きていくかを、高校生に考えてもらうことに主眼を置いたプログラムとなっていた。

第1回、第2回とも、はじめに、古賀先生よりパワーポイントで映像や音声も使って、できるだけリアリティのある形でケースが紹介された。

■ Aさんのケース：アルバイトしていた地元のスーパーで契約社員となり、精肉部門でベレー帽のかわいいユニフォームを着て働く。彼女は、現在の雇用形態に必ずしも満足しているわけではないが、同じくらいの年齢のアルバイト友達や地域の顔見知りのお客さんに囲まれた職場の居心地のよさも語り、正社員になると他店舗への異動があるのが嫌で現在の勤務形態を継続している、と言う。

■ S君のケース：フリーターの兄がいることもあり、必ず就職しようと決めて、給料も高く資格もとれるというガソリンスタンドに就職した。ところが、先輩たちの姿をみているうちに、給料がこの先それほど大きくは上がらないこと、正社員がアルバイトのシフトの穴を埋めなければならず休みが安定しないこと、高いレベルの資格はとれないことなどに気づき、退職。同じガソリンスタンドでアルバイトしながら、趣味のバンドを再開するなどフリーターになっている。インタビューにはS君の揺れがそのままに示されていた。

■ Kさんのケース：3年の秋になって偶然そういう選択肢を知り、看護学校に通いながら准看護師として働くことを選択したKさんという女性のケース。Kさんは、仕事の大変さを語りながらも、わからないこと

は周りに聞きながら乗り越えたり、つらいことは上手に忘れてたりしてやり過ごし、患者さんとの会話に楽しみをみつけたりしながら、日々を生きている。

この後、生徒たちは、紹介されたケースの先輩の生き方をどう思うか、6人×5グループに分かれ、大学院生がファシリテーターに入って、ディスカッションを行った。第1回目は説明に時間を取り過ぎ、あまりディスカッションに時間がとれなかったが、2回目はまとまった時間をとることができた。各グループにファシリテーターとして研究室の大学院生が入ったため、ふだんは黙ってしまいがちな生徒たちも、うまく反応を引き出された面があったようである。生徒たちにとっては、年齢が近い大学院生は、教員よりも親近感を持って向かえる相手であり、また、院生自身が、生徒が話しやすい問いやコミュニケーション・スタイルを意識して、場をつくっていた効果もあると考えられる。例えば、女子ばかりのグループに入った女性の院生が、「合コンするのに、相手がフリーターだったらどう?」「それが30歳くらいになってからだったら?」などと問いかけ、生徒たちは、本音で考え語りあっていた。とりわけ、盛り上がっていたのが、自分たちのアルバイト経験を語り合う部分である。そうした経験を語り合いつつ、将来の仕事やその選択についてもリアリティをもって、考えているようだった。イツ・コムインタビューに答えた生徒も、ディスカッションを通して、「みんなの話がいろいろきけてよかった」と互いの経験をシェアできたことを挙げていた。

### 3 生徒のアンケート結果

